



▲出場報告に市役所を訪れた水野さん(左)

10月10日から新潟県で開催された第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」の京都府代表選手として、園部町の水野聡さんがボウリング競技に出場されました。10月5日、市役所を訪れた水野さんに、佐々木市長は「ほかの選手の励みにもなるのでぜひ頑張ってきてください」と激励の言葉を贈り、南丹市からの激励金を手渡しました。

競技結果は入賞には及びませんでしたが全国の代表選手相手に健闘されました。

10/5 「トキめき新潟大会」出場選手激励会

「全国の代表選手相手にチャレンジ」

「快速バスで直行！秋色の美山へ」

阪急桂駅と美山かやぶきの里を結ぶ快速バス「美山ネイチャー号」が、9月の連休から運行を開始。京阪京都交通が観光の新たな交通手段として、秋の土・日・祝日の期間限定の予約制で実施されています。紅葉に彩られた美山に安らぎを求めて訪れる観光客も多く、満席になる日やバスの増便対応がされるなど、利用状況は好調。運行初日の9月19日には、南丹市から来訪者に記念品を贈呈しました。この快速バスは11月末まで運行予定です。



▲美山を訪れた方々に記念品を贈呈

9/19～11/29 美山ネイチャー号運行

「誕生！南丹市の新名物イベント」



▲熱戦が繰り広げられた三輪車レース

南丹市商工会青年部主催の「第1回南丹サンサン祭」が大堰川緑地公園で行われました。これまで旧町でそれぞれの同青年部が開催していた青年部祭、にこにこ祭、こいこい祭などを結集し、手作り三輪車で周回数を競う4時間耐久三輪車レース、三輪車版SASUKE(タイムトライアル)、環境に配慮した企画としてリユース(再利用)食器を使ったうまいもん市、リサイクル市などを繰り広げました。近畿一円からの来場者は、レースの熱気や地元産の味覚など、秋の南丹市を満喫しました。

10/4 南丹サンサン祭

「自然の中で気付き築く親子のきずな」

自然活動を通して親子のきずなを深めることを目的に美山町自然文化村キャンプ場で開催された「親と子のふれあいキャンプ」。初日はテント設営やサバイバルゲーム、森の声を聞くナイトウォークなどを体験。2日目は周辺住民も訪れ、(財)小野田自然塾理事長の小野田ひろお寛郎氏による講話が行われました。戦後30年間フィリピンのルバング島で任務解除命令を待ち続けた小野田氏は、「自然は最高の教師。人は1人では生きられない」と経験から得た人とのきずなについて話されました。



▲子どもの手をとって優しく語りかける小野田氏

9/5～6 B&G「親と子のふれあいキャンプ」